

『春日権現験記絵』 (第19巻 第二段)

ここでは、前の戦闘場面とは対照的に、平穏な場面に物語が戻ります。現在の奈良県北西部にある常葉の小さな仏堂の上に虹が現れ、好奇心旺盛な通行人たちを引き寄せます。中に入ると、彼らは祭壇の上にぶら下がっている 3 つの神聖な鏡を含む袋を見つけます。袋に添付されたメモによると、鏡は良福寺の政安冠者によって盗られました。通行人は鏡の袋を取り、金勝寺の僧侶に託そうとしました。